

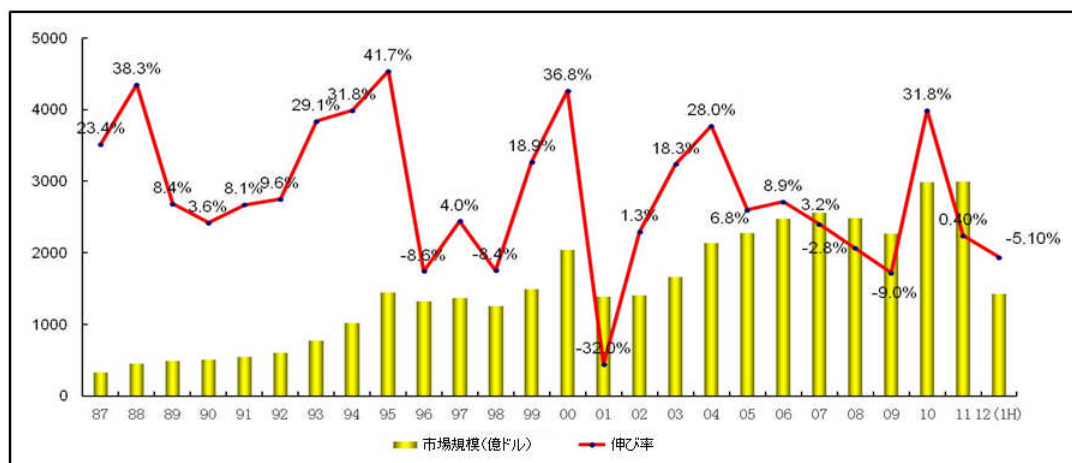
2013年1月17日

中国IC産業は2012年上半期も根強い伸び

低迷が続く世界の半導体市場 2012年はマイナス成長も

2012年上半期、世界の半導体産業の規模は前年同期比5.1%減の1,428億5千万ドルで、第3、4四半期も軒並み低調となりそうだ。WSTS(世界半導体市場統計)の6月頭の予測では、2012年の世界の売上高は0.4%と2011年と横並びの伸びで、3,000億ドルを突破するとされているが、現状では、市場はなおマイナス基調にあり、月を追うごとに落ち込んでいる。2009年の金融危機以来のマイナス成長となりそうだ。

図1 世界の半導体市場の規模及び伸び率



データ出典: CCID(賽迪顧問)まとめ 2012.10

中国 IC 産業はマイナス成長 設計業は急成長

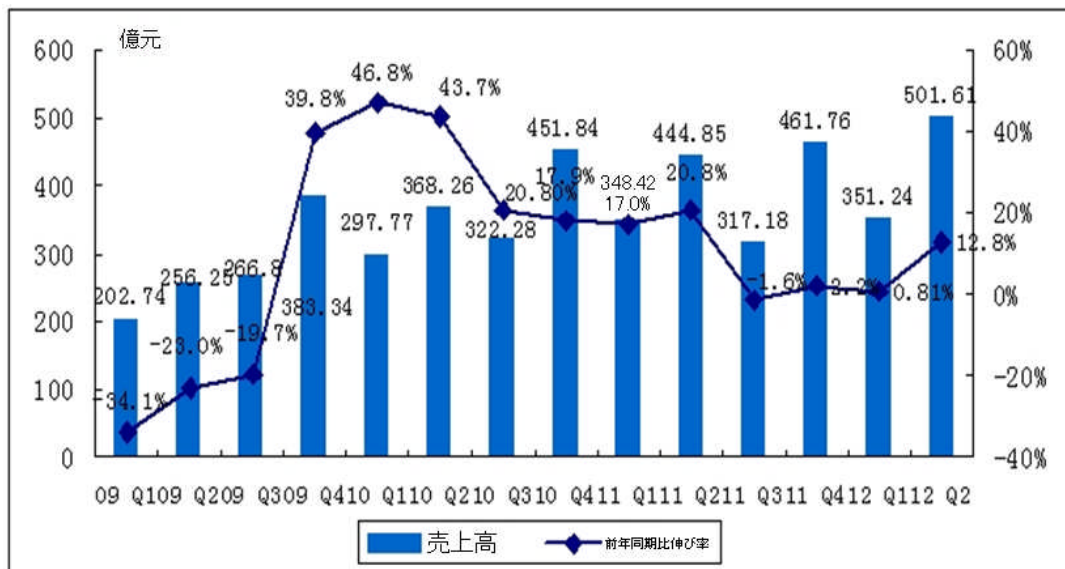
2012年上半期の中国のIC産業は、第1四半期は大幅に落ち込み第2四半期は顕著な持ち直しを見せるという「先低後高」型で、全体としての売上高は前年比7.5%増の852億8,500万元であった。世界のマクロ経済の冷え込みや低迷が続く半導体市場の中で中国市場が伸びているのは、広範な国内需要と日々向上を続ける国内の技術水準によるところが大きい。

ICの各産業チェーンについては、海思半導体、展訊通信といった有力企業の売上高の急激な伸びに引っ張られる形で、設計業の売上高が前年同期比20.8%増の順調な伸びを維持、224億7,100万元に達した。IC設計業は2008年の金融危機以来、年平均25%超で伸びており、通年でも比較的高い伸びを続けそうだ。また、川下企業の在庫補充や、インテル、海力士といった有力企

■ 電子的または機械的な手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。また、当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に際してはお客様ご自身の判断にてお願い致します。

業の生産能力拡充に牽引される形で、チップ製造業とパッケージ検査業が第2四半期に顕著な反発を見せた。上半期全体の伸びは、前年同期比でそれぞれ6.2%と1.6%増の258億1,700万元と369億9,700万元であった。

図2 2009年第1四半期-2012年第2四半期における中国のIC産業の売上高及び伸び率



データ出典：CSIA 2012, 08

中国 IC 市場は伸びを維持 伸び率は減速が続く

2010年の世界のIC市場は31.1%と大幅に伸びたものの、電子製品需要が力強さに欠けたことで2011年は0.8%幅下げた。一方、中国市場への影響は相対的に小さく、国内外の様々な制約をよそに、2011年の売上高はなお9.7%増と小幅な伸びを見せた。2012年上半期には、世界経済回復の動きが弱く電子製品の消費も低迷し、在庫を削減する企業が相次ぐといった情勢の中、売上高が4,748億6千万元と昨年の同時期に比べ4.3%とわずかながら伸びた。世界の半導体業界が軒並み振るわない中、中国市場はなおプラス成長を維持してはいるが、今後の経済情勢の不透明性や電子製品の需要が下火になっていることを考えると、通年の伸び率は昨年同期を下回り、2年続けての減速となりそうだ。

■ 電子的または機械的な手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。また、当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に際してはお客様ご自身の判断にてお願い致します。

図2 中国のIC市場の規模及び伸び率



データ出典: CCID(賽迪顧問)まとめ 2012.10

ネットワーク通信が中国IC市場の伸びを支える柱に

2012年上半期は、スマートフォンに代表されるスマート化モバイル端末機器が中国市場に急速に浸透した。スマートフォンが伸びたことで、クアルコム、サムスン、展訊などの上半期の売上高は、世界の半導体市場が伸び悩みを横目に、依然としてかなりの伸びを見せた。だが、チップ価格の下落で製品利益は軒並み下降気味である。また光通信設備やモバイル通信基地局の伸びに勢いがあったことも、ネットワーク通信関連のICの需要を押し上げた。上半期に中国市場全体の伸びを支えた柱となったのはネットワーク通信向けIC需要の伸びであった。一方、DRAM価格の回復や出荷量の増加が中国のPC向けICの伸びを大きく支えている。

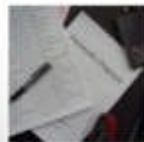
以上

■ 賽迪顧問股份有限公司 (CCID) のご紹介

CCIDは、中国「工業情報化省」傘下で中国最大のコンサルティング会社です。2004年には、中国のコンサルティング会社として初めて香港証券取引所への上場を果たしました。各国の企業に対し、市場調査やマーケティング戦略・販売チャネルの構築支援など多岐にわたるサービスを提供しています。現在は北京本社のほか、上海や広州、深センに支社、日本や米国、韓国、イタリアに事務所を置いてあり、世界的に高い知名度を誇っています。

■ 電子的または機械的な手段を問わず、本資料の一部または全部を無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。また、当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に際してはお客様ご自身の判断にてお願い致します。

中国市場調査サービス



中国市場調査レポート

中国市場の今を知る
最新マーケティングレポート

2011-2012年版中国市場調査レポートを
4月1日より販売開始。詳細はこちら↓

www.j-fep.co.jp/consul/report.html



中国市場データ配信

企業別・地域別最新データの
定期配信サービス

ご希望分野のデータを定期的にお届けする
サービスです。詳細はこちら↓

www.j-fep.co.jp/consul/data.html



中国市場受託調査

政府系コンサル企業による
ニーズ・目的に応じた調査

調査地域・分野を問わず、お客様固有の
ニーズに合わせて実施するカスタムリサー
チサービスです。詳細はこちら↓

www.j-fep.co.jp/consul/custom.html